

私の歩んできた道

佐々木 伴枝さん（東城町栗田）

87年前の夏、私は佐々木家の1人娘として生まれました。小・中学校は栗田の学校へ行きました。高校からよそに出たかったのですが、1人娘ということもあり親に、特に母親には猛反対されることが出来ず町内の高校へ通いました。

高校を卒業する頃、栗田へ保育園を作ろうと地域で話が盛り上がりました。高校卒業後3年間は、裁縫をしたり、家の手伝いをしながら、夏休みの間等に広島市宇品の専門学校へ通い、保育士免許をとり、栗田の保育園で保育士として4年程勤めました。

24才の頃、銀行員をしていた主人とお見合いをして結婚しました。銀行員は転勤もあり、共働きは難しいと思い保育士の仕事を辞めることにしました。

息子と娘、2人の子どもに恵まれ幸せな時を過ごしていた矢先、主人が病におかされ体調が悪化。主人が「痛い、痛い」と痛がる姿を見て、何もしてあげられないもどかしさと悔しい思いでいっぱいでした。そして、主人は39才という若さで亡くなりました。当時、私は37才でした。私よりも、小学5年生の息子と小学3年生の娘のことを思うと可哀想で可哀想で辛かったです。特に当時は、学校の書類など、親の名前を

2名書かなくては行けず、その時が本当に辛かったです。「私がしっかりしないといけない!!」という強い気持ちで、何とか踏ん張って頑張っていたように思います。

主人が亡くなってからは、子育てと農業をしながら、主人の友人が紹介してくれたPOLAの販売員もしました。65才までトラクターに乗り、機械を使って農業を頑張っていました。その頃、いつも力になって応援してくれていた母が体調を崩しました。その時、母に「最期までお前にみて欲しい。点滴も入院もしたくない。」と言われ、その母の気持ちに応えようと、最期まで自宅で母と一緒に過ごしました。そして、母は94才まで私の傍にいてくれました。

その後は私も病気をし、入院や手術もしました。今、人生を振り返ってみると、私は波乱万丈な人生を歩んできたように思います。けれど、とにかく、身体が元気だったこと、家族が支えてくれたことで、私は前向きに頑張ってきたんだと思います。

87才になった今は、毎朝6時に家族の健康を願い、ご先祖様へ感謝の気持ちで般若心経を唱えることが日課であり、元気の源になっています。そして、なにより今は一緒にいてくれる息子夫婦が、私の大きな力になってくれています。

これからの人生、私の好きな言葉『七転び八起き』をモットーに、私らしく前向きに歩いていきたいです。



七転び八起き

鼓舞し合う



執筆
熊原 保

残暑厳しい9月1日、「遊 YOU さろん東城」などで行われた24時間チャリティ募金活動に参加しました。当日は、東城高校の生徒さんも参加して、暑い中一生懸命呼びかけてくれました。会場には遠方からの家族連れや、手づくりの貯金箱を手にした子ども達、また障がいのある方など多くの人たちの善意が届けられました。この取り組みは東城町独自で始められて以来31年になるそうです。金額ではなく、地域で長く続けられていることが大事です。

この善意の灯を、これからも絶やすことなく続けていきたいものです。



寄付御礼

社会福祉事業に寄付をお寄せいただきました。ここに
ご芳名を報告させていただきますとともに、心よりお礼
申し上げます。(順不同)

当法人への寄付金は所得税法第78条の寄付金控除の対象となります。

- 内藤 眞登様 ●熊原 教江様 ●岩本 尚様
- 村田 元治様 ●後藤 卓馬様 ●今岡 浩様
- 小田アヤメ様 ●内藤 寛・真由美様

社会福祉法人 恵仁会 こぶしの里

2024年10月10日発行
☎ 729-5121 広島県庄原市東城町川東 152-4
TEL : 08477-2-5252 / FAX : 08477-2-5253
E-mail : kobushinosato@keijinkai-swc.or.jp
ホームページ : <https://keijinkai-swc.or.jp>

TOPIC

- 笑顔も咲いた!! 花火鑑賞
- 納涼祭
- 第1回こぶしの里天満書道展
- 東城ガールズコレクション開催のお知らせ
- 私の歩んできた道

笑顔も咲いた!! 花火鑑賞

8月10日、遊夏祭の日。こぶしの里の3階ベランダで利用者様と職員と8名の子ども達も一緒に花火を観賞しました。子どもの姿を見られた利用者様からは「私にや孫はおらんが子どもはええなあ」と喜びの声があがりました。

空には三日月。花火が上がるまでの待ち時間に子ども達から利用者様へアイスクリームが配られると、喜んでほおばっておられました。ドーンという音と共に美しい花火が上がると歓声が上がっていました。

後片付けも職員家族や子ども達が手伝い、親に見守られながら利用者とふれあったり、車椅子を押す子どもたちの姿を見て心があたたまりました。



親の職場を知り体験した子ども達が、花火を見るたびに今日の事を思い出し、自分も親のようにこぶしの里で働きたいと思ってくれればと思います。

会場の東城小学校に出向いた際は、催し物や出店に若者が楽しんでいる姿がみられましたが、いつか利用者様にも観せてあげたいものです。



納涼祭



全てのものを焼き尽くすような暑さが続く8月23日。熊原理事長の盆踊りの口説きでこぶしの里入所の納涼祭が始まりました。

まずは恒例のスイカ割。1階・3階の各階の代表の方が、見事、スイカを割られました。

その後は、4つのグループに分かれて、ビンゴゲーム、ポッチャ、お金釣りの3つのゲームに参加。それぞれのゲームで入所者の皆様、盛り上がりおられました。ビンゴゲームでは、ビンゴになった方は、景品を選びに行き

ます。トートバッグ、大人の塗り絵、コップ、タオル、帽子、靴下、ハンドクリームなど、盛りだくさんの景品を見ながら、楽しそうにじっくり吟味して選ばれていました。

最後は、桧田施設長の挨拶で祭りをしめくり、スイカ割で割ったスイカとお祭りの定番、たい焼きを食べながら、今年も楽しかったねーと過ぎ行く夏に思いをはせました。

来年もまた、楽しい夏祭りにしましょうね。

第一回 天満書書道展 こぶしの里



第1回こぶしの里天満書書道展が開催されました。総勢19名の応募があり、理事長や施設長、副施設長、利用者様に審査員をしていただきました。久しぶりに筆を執る方や手が震えうまく書けない方もおられましたが、時には大胆に、繊細にとっても見事な書を書いていただきました。展示もさせていただきそれぞれの書いた書を見ながら楽しまれていました。また、賞状授与の際は「まだまだ上手に書けた!! 次回はもっと上手に書きたい」や「こんな賞をもらえてうれしい」などの声がきこえました。次回もさらに多くの方に参加していただき盛り上げていきたいです!



TGC Tojo Girls Collection 祝 IWAI

第1回 東城ガールズコレクション 11月28日開催決定!!

『老いの美しさに有難う。いつまでも綺麗でいたい』

高齢者の願いを叶えるためのファッションショーです。4月に社会福祉法人 恵仁会としてスタート。テーマは祝 (IWAI) としました。通所利用者の方と施設入所者の方を対象に思い入れのある曲の生演奏にのせて、あこがれ衣装で素敵なパートナーと一緒にランウェイを歩きます。

平素と異なる雰囲気の中で心を弾ませられる素敵な1日になるように、東城みらいプロジェクトの皆様とウィー東城店様、西上デパート様のご協力のもと、こぶしの里施設内で開催いたします。

次号にて開催の模様をお伝えします。

